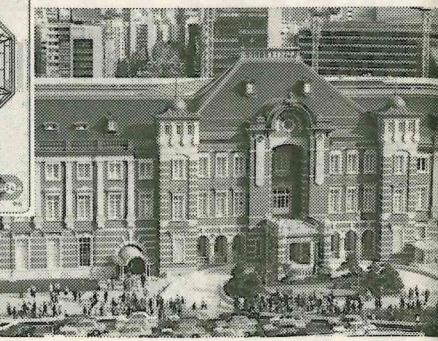


開業100周年を記念したSuica（1枚2000円）。限定1万5000枚で、12月20日から、丸の内南口ドーム内特設ブースで発売予定



開業当時の外観に復元された東京駅

雄幸首相の遭難プレートが掲げられている。新幹線は今年、開業50周年を迎えたが、新幹線の父と呼ばれた国鉄総裁、十河信二の碑は、東海道新幹線18・19番ホームの南端（品川寄り）に立っている。

なお、丸の内南口は東京ステーションホテルにつながっている。カフェやバーで贅沢な気分を味わってみるのもいい。

## 駅ナカも駅ソトも

東京駅は巨大な街ともいえる。随所に地図やフロアマップが八重洲側にある。八重洲北口近くには「キッキンストリート」（1階）、大人の雰囲気の「黒塀横丁」（地下）、穴場的な「北町ダイヤ」と、小説で連載中の「東京會館」とわたしの舞台、東京會館。カフェエテラスやバーで伝統の味を。同館は建て替えのため来年1月末に閉館する。営業再開は2018（平成30）年春の予定。歴史ある建物は見納めだ。

東京駅西側の丸の内地区には高層ビルが建ち並び、有名店が数多く入っている。丸の内の“顔”といえる

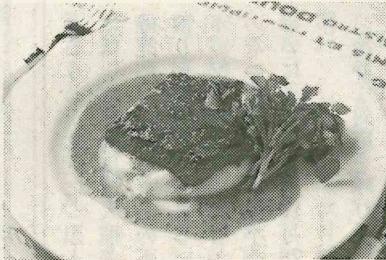
## 散策も楽しい丸の内

ニング」（2階）などレストランが集中している。八重洲の「東京駅一番街」には数多くの店が並ぶ。地下1階の北通り「東京キャターストリート」の一角にある「松竹歌舞伎屋本舗」は手拭い、お菓子などがそろう。その前には「資生堂」、「エキユート東京」には弁当やデザートなどの店が30ほど。地下1階「グランスタ」は八重洲口から丸の内口まで続く“商店街”だ。改札の外は、店のほとんどが八重洲側にある。八重洲北口近くには「キッキンストリート」（1階）、大人の雰囲気の「黒塀横丁」（地下）、穴場的な「北町ダイヤ」と、小説で連載中の「東京會館」とわたしの舞台、東京會館。カフェエテラスやバーで伝統の味を。同館は建て替えのため来年1月末に閉館する。営業再開は2018（平成30）年春の予定。歴史ある建物は見納めだ。

柱には、30（昭和5）年11月14日に凶弾に倒れた浜口一郎（ひんぐち いちろう）が、改札内1階、八重洲と丸の内の中央口を結ぶ中央通路には駅弁屋、13の有名店が入る銘菓紀行などがある。



建て替えのため、来年1月末に一時閉館する東京会館



丸の内仲通り沿いにあるビストロ・ドゥーブルで供されている「牛バーベットステーキ マスタードソース」



気軽にフレンチが楽しめる ブラッスリー・オザミ

丸の内仲通り沿いにあるビストロ・ドゥーブルが建て替えのため来年1月末に閉館する。営業再開は2018（平成30）年春の予定。歴史ある建物は見納めだ。

丸の内仲通り沿いにあるビストロ・ドゥーブルが建て替えのため来年1月末に閉館する。営業再開は2018（平成30）年春の予定。歴史ある建物は見納めだ。